

	項目	今後の取り組み内容
教育・保育（健康 人間関係 環境 言葉 表現）	1 生理的な欲求を満たし生命の保持と情緒の安定を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループで活動するなどゆったりした環境作りに配慮する ・このペースが確保できるよう職員間の連携や気づきを伝えあい改善する ・保育の流れが切れぎれになったり流れ作業になっている。個のリズムを大切に ・一人一人との関わりや言葉のかけ方を深めていく
	2 行動範囲が広がり探索活動が盛んになり心身ともに快適な生活をする	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数での活動を増やし安心できる環境作りを心掛ける ・コーナー作りや探索活動の環境工夫がされている ・いつでも活動できるスペースの確保 ・子どもたちが主体的に遊べる遊具の充実や環境を整える
	3 保育教諭や友だちとのかかわりを深め、自分の伝えたい事や思いを表現する	<ul style="list-style-type: none"> ・指示待ちの子が多く自分でしてみようという意欲を膨らませられるようにする ・個々に向き合う時間やコミュニケーションを意図的に作る ・伝え方・タイミングなども意識していく ・家庭と連携し子どもがより良い生活を送れるようにする
	4 保育教諭や友だちとのつながりを深め集団としての行動が出来る	<ul style="list-style-type: none"> ・集団での個を観察し改善点等反省し欲求が満たされるように配慮されている ・集団に入れない子への対応→一人に関わると全体への意識が希薄になるためクラスの枠を超えての連携が必要になる
	5 集団生活の中で、意欲的に活動し知識や能力を獲得し達成感や充実感を味わう	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子に応じて指導の仕方や関わりを変えているところは良い ・つながりを深め遊び込む過程で自ら考えて行動できるよう環境を作る
	6 環境を通じた教育及び保育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・月間カリキュラムの見直し、充実を図る ・子どもたちのやる気を引き出す仕掛けや関わりをする ・自主性・主体性を引き出せる環境作りを心掛ける
情報提供 人材育成 公共機関との連携	7 特別な配慮が必要な園児の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の工夫・保育者間の連携・同じ意識をもって保育教育に取り組む ・発達段階に適した保育教育の提供 ・専門的なノウハウを身に着ける
	8 家庭・地域社会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供の工夫 HP・お便り・看板等 目を引くように ・ボランティア・職場体験の受け入れ
	9 職員間の連絡および協力体制	<ul style="list-style-type: none"> ・報連相の徹底・共通認識を持つ ・情報・連絡伝達の引継ぎはできているが協力体制が十分でない→職員同士の仕事理解と思いやりを持つ
	10 小学校との円滑な接続	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭との交流機会を持ち意見交換を行い円滑な接続につなげる ・園児と児童の交流機会を持つ